

前期の基本方針

見直し案

基本方針の策定にあたって	はじめに(基本方針の策定にあたって)
第1 小平市のスポーツ振興の歴史と現状 1. 小平市のスポーツ活動 2. 小平市のスポーツ施設 3. スポーツに関する市民意識	第1章 小平市のスポーツ振興の基本方針の概要 1. 基本方針策定の趣旨★ 2. スポーツ振興の関する国や都、小平市の動向★ 3. 基本方針の位置づけ★ 4. 対象期間★ 5. 本基本方針におけるスポーツの意義★ 6. 基本方針策定に関わる視点★ <div>・「スポーツ」の定義は、競技スポーツだけではなく、健康づくりなど目的を持った身体活動の全てをスポーツとして扱います。 ・視点は、第1回検討委員会で示した内容を踏まえ整理して記載します。</div>
2 小平市のスポーツ振興の基本的な考え方 1. スポーツ振興における市の役割 2. 市の役割に関する基本的な考え方 (1) 今後のスポーツ振興施策の視点 (2) スポーツ活動を支える施設のあり方 (3) 市民ニーズと事業展開	第2章 小平市のスポーツ振興の現状と課題 1. 小平市のプロフィール 2. 小平市のスポーツ環境 3. 小平市民のスポーツに関する市民意識★ 4. 小平市のスポーツ振興の課題★ <div>・スポーツ環境として、施設、イベント、教室、団体等を整理します。 ・課題の抽出は、市民意識調査の結果と国・都などのデータ比較から問題点を分析し、現状と目標とのギャップを整理します。</div>
第3 スポーツ振興施策の基本方針 1. スポーツ振興の仕組みづくり (1) 小平市体育協会の発展への支援 (2) 市民との連携・協働 (3) 民間企業・大学等との連携・協働 2. 今後の体育施設等のあり方 (1) 体育施設の整備及び管理、運営 (2) 学校体育施設等の有効活用 3. 健康づくり事業の推進	第3章 小平市のスポーツ振興の基本方針【再編・追加】 1. だれもがスポーツに親しめる環境の整備 ・ライフステージに応じたスポーツ環境の整備 ・障がい者のスポーツ環境の整備 2. スポーツ推進に関わる人材の育成 ・スポーツ指導者への支援 ・ボランティアの拡充 3. スポーツの場と機会の整備・充実 ・体育施設の整備及び管理、運営 ・学校体育施設等の有効活用 ・スポーツ教室、大会・イベント等の充実 4. 情報技術を活用したスポーツ情報の発信や提供 ・多様な手法を活用したスポーツ関連情報の発信 ・スポーツ関係者・団体等における情報共有 5. スポーツを通じた地域づくり ・スポーツを通じた地域コミュニティの活性化 ・健康づくり事業の推進 6. 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けての対応 ・広報やイベント・教室の実施 <div>・基本理念は、第三次長期総合計画の個別計画のため、目標及び将来都市像を同じとします。 ・基本方針については、前期計画の内容を発展的に承継しつつ、国や都の動向を踏まえて、第2章の課題と関連した基本方針を掲げ、それぞれに施策の取組を体系づけします。 ・また、現段階においては、現在のスポーツ環境の傾向から想定される案として記載しています。</div>
	第4章 小平市のスポーツ振興の基本方針の推進にあたって 1. 推進体制
	資料編 <div>・推進体制として、市民、スポーツ団体、地域団体、事業者、行政それぞれの期待される取組を掲げます。</div>

★:新たな項目・一部変更した項目

第二次小平市のスポーツ振興の基本方針の考え方

第2回基本方針策定検討委員会 資料3

平成28年6月24日（金）

国の動向

- スポーツ基本法(平成23年8月)
- スポーツ基本計画(平成24年3月)
- スポーツ庁の設置(平成27年10月)

東京都の動向

- 東京都障害者スポーツ振興計画(平成24年3月)
- 東京都スポーツ推進計画(平成25年3月)

小平市第三次長期総合計画 「生涯スポーツの推進」 予定されている計画事業の進捗状況

■施設事業

- (1)小学校校庭への夜間照明設置の検討(未実施)
- (2)プレイパーク設置の検討・実現(小川町一丁目に設置済)

■非施設事業

- (1)体育施設の計画的維持管理の実施(継続中)
- (2)ハケ岳山荘の今後のあり方の検討(平成24年施設廃止)
- (3)総合型地域スポーツクラブの育成(未実施)
- (4)生涯スポーツを支える人材育成やボランティアのしくみづくり(継続中)
- (5)関係団体やNPO団体等との連携・協働(継続中)
- (6)公共施設予約システムの導入(平成18年度導入済)
- (7)東京国体開催に向けての準備(実施済)

小平市のスポーツ振興の基本方針 【施策の進捗状況】

- ・小平市体育協会の法人化(平成22年4月～)
- ・市民総合体育館の指定管理者制度の導入(平成27年4月～)
- ・FC東京と市との事業連携(平成22年～)
- ・小平市体育協会への支援(平成22年～)
- ・スポーツ推進委員及び体育協会加盟団体の育成(平成21年～)

市の関連する施策別分野計画

- ・小平市教育振興基本計画
- ・小平市障がい者福祉計画
- ・小平市の文化振興の基本方針
- など

アンケート調査結果 【今年度実施予定】

スポーツを取り巻く社会環境の変化と課題(出典:東京都スポーツ推進計画)

- ・超高齢社会の到来
- ・障がい者スポーツの認知度向上
- ・子供・若者の体力低下
- ・単身世帯の増加・地域のつながりの希薄化
- ・東日本大震災の発生と復興支援
- ・スポーツレクリエーション活動の変化

小平市のスポーツ振興の視点(例)

- ライフステージに応じた生涯スポーツの振興
- 子どもの体力向上
- 地域スポーツの推進(トップスポーツとの交流含む)
- スポーツをささえる組織の充実
- 障がい者スポーツの振興
- スポーツの環境の整備とまちづくり
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催
- など

小平市のスポーツ振興の課題

第二次小平市のスポーツ振興の基本方針(案)

基本方針1

だれもがスポーツに親しめる環境の整備

基本方針2

スポーツ推進に関わる人材の育成

基本方針3

スポーツの場と機会の整備・充実

基本方針4

情報技術を活用したスポーツ情報の発信や提供

基本方針5

スポーツを通じた地域づくり

基本方針6

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けての対応

第1章 小平市のスポーツ振興の基本方針の概要

第2章 小平市のスポーツ振興の現状と課題

課題案1. だれもがスポーツに親しめる環境づくりに向けた課題

- 超高齢社会の到来(都)
- 子供・若者の体力低下(都)
- 障がい者スポーツの認知度向上(都)
- スポーツレクリエーション活動の変化(都)
- ・・・

課題案2. 人材育成に向けた課題

- スポーツ指導者の育成・支援(◆)
- スポーツ推進委員の支援(◆)
- 小平市体育協会加盟の団体への支援(◆)
- スポーツ関係団体の連携・協力(★)
- スポーツボランティア活動の推進(◆)
- 障がい者の余暇活動支援への人的整備(★)
- ・・・

課題案3. スポーツのための場の整備・充実に向けた課題

- 公共施設の有効活用(◆)
- 学校体育施設等の有効活用(◆)
- スポーツが苦手な人のためのきっかけの場づくり(◆)
- 民間事業者との連携・協力(★)
- 小平グリーンロードの整備、活用(ウォーキング、ランニングなど)(◆)
- 歩行者や自転車利用者を大切に道路空間の確保(★)
- ・・・

課題案4. 効果的な情報発信・提供に向けた課題

- 情報技術を活用したスポーツ情報の発信や提供(★)
- スポーツ施設利用方法の周知(◆)
- スポーツ関係団体の連携・協力(★)
- 健康や介護予防などの個別計画との関係性(◆)
- ・・・

課題案5. スポーツを通じた地域づくりに向けた課題

- 単身世帯の増加・地域のつながりの希薄化(都)
- スポーツを通じた多様な交流(★)
- 市民の健康づくりの取組(◆)
- ・・・

課題案6. 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた課題

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた機運醸成(★)
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックレガシーの継承(★)
- スポーツ、文化、教育の融合(★)
- スポーツの観戦機会の提供(★)
- ・・・

(★): 新たな課題 (◆): 継続的な課題 (都): 東京都スポーツ推進計画の課題

第3章 小平市のスポーツ振興の基本方針

基本方針

1. だれもがスポーツに親しめる環境の整備

取組項目

- ・ライフステージに応じたスポーツ環境の整備
- ・障がい者のスポーツ環境の整備
- ・

2. スポーツ推進に関わる人材の育成

- ・スポーツ指導者への支援
- ・ボランティアの発掘、育成及び拡充
- ・

3. スポーツの場と機会の整備・充実

- ・体育施設の整備及び管理、運営
- ・学校体育施設等の有効活用
- ・スポーツ教室、大会・イベント等の充実
- ・

4. 情報技術を活用したスポーツ情報の発信や提供

- ・多様な手法を活用したスポーツ関連情報の発信
- ・スポーツ関係者・団体等における情報共有
- ・

5. スポーツを通じた地域づくり

- ・スポーツを通じた地域コミュニティの活性化
- ・健康づくり事業の推進
- ・アダプテッド・スポーツの推進
- ・小平の良さの再発見

6. 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けての対応

- ・広報やイベント・教室の実施
- ・スポーツへの興味、関心の向上

1. 国のスポーツに関わる動向

(1)スポーツ立国戦略

文部科学省では、平成22年8月、今後おおむね10年間を見据え、スポーツ立国の実現に向けて必要となる施策の全体像を示す「スポーツ立国戦略ースポーツコミュニティ・ニッポンー」を策定し、『新たなスポーツ文化の確立』を目指して、重点戦略等を定めました。

(2)スポーツ基本法

スポーツ立国戦略に基づき、「スポーツ振興法」を50年ぶりに全面改正し、平成23年8月、「スポーツ基本法」を施行しました。同法では、“スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利である”などの基本理念が示され、スポーツに関する施策を策定し、実施することが、国、地方公共団体の責務であること及びスポーツ団体がスポーツの推進に主体的に取り組むよう努めることが定められました。

(3)スポーツ基本計画

スポーツ基本法第9条に基づき、平成24年3月に策定された「スポーツ基本計画」は、スポーツ基本法の基本理念を具体化し、今後のわが国のスポーツ政策の具体的な方向性を示すものとして、国、地方公共団体、スポーツ関係団体等が一体となって施策を推進していくための重要な指針として位置付けられるものであり、今後10年間を見通したスポーツ推進の基本方針、今後5年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策を定めています。

(4)スポーツ庁の創設

平成27年10月には、文部科学省や厚生労働省など複数の省庁にまたがるスポーツ行政の関係機構を一本化し、スポーツの振興その他のスポーツに関する施策の総合的な推進を図ることを任務とする「スポーツ庁」(文部科学省の外局)が設置されました。

スポーツ基本計画

【今後10年間を見通したスポーツ推進の基本方針】

- ①子どものスポーツ機会の充実
- ②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ③住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備
- ④国際競技力の向上に向けた人材の養成やスポーツ環境の整備
- ⑤オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会の招致・開催等を通じた国際貢献・交流の推進
- ⑥スポーツ界の透明性、公平・公正性の向上
- ⑦スポーツ界の好循環の創出

【今後5年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策】

- ①学校と地域における子どものスポーツ機会の充実
- ②若者のスポーツ参加機会の拡充や高齢者の体力づくり支援等のライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ③住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備
- ④国際競技力の向上に向けた人材の養成やスポーツ環境の整備
- ⑤オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会等の招致・開催等を通じた国際交流・貢献の推進
- ⑥ドーピング防止やスポーツ仲裁等の推進によるスポーツ界の透明性、公平・公正性の向上
- ⑦スポーツ界における好循環の創出に向けたトップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進

2. 都のスポーツに関わる動向

(1)東京都障害者スポーツ振興計画(平成23年度～平成32年度)

東京都では、障がいのある人もない人も、だれもがスポーツに親しむ「スポーツ都市東京」の実現に向けて、平成24年3月、「東京都障害者スポーツ振興計画」を策定しており、障がい者スポーツの情報発信と普及啓発が進み、障がいのある人となない人の相互理解と交流が進んでいる、障がい者スポーツを支える人材育成が進み、地域ごとに障がい者スポーツを楽しめる環境づくりが広がっている社会などを目指し、障がい者スポーツ振興の方向性を示しています。

(2)東京都スポーツ推進計画(平成25年度～平成32年度)

平成25年3月に、『「スポーツの力を すべての人に」～誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しみ、スポーツの力で人と都市が活性化する「スポーツ都市東京」を実現～』を基本理念に掲げた「東京都スポーツ推進計画」を策定しました。 【目標:世界トップレベルのスポーツ実施率(週1回以上) 70%】

東京都スポーツ推進計画では、超高齢社会の到来、単身世帯の増加・地域のつながりの希薄化等のスポーツを取り巻く社会状況の変化と課題を踏まえ、スポーツ都市東京の実現に向けた5つの戦略を掲げています。

(3)国際スポーツ大会の開催都市

ラグビーワールドカップ2019や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催をはじめ、今後、関連イベントの開催が増え、全国的にスポーツに対する関心が高まることが想定されます。

3. 第三次長期総合計画ーこだいら21世紀構想・前期基本計画

- 目 標 「躍動をかたちに 進化するまち こだいら」
将来都市像 「健康で、はつらつとしたまちをめざして」ー次世代育成・健康福祉・教育・生涯学習ー
中 項 目 「だれもがいきいきと学び豊かな心を育むまちをめざす。(生涯学習)」
小 項 目 「生涯スポーツの推進」

○本計画における基本方針(平成18年度～平成32年度)

- (1)市民のスポーツ活動や健康づくりを実現するためのスポーツ活動の拠点確保や整備とともに、その自主的な活動も含め支援する人材育成やボランティア制度のしくみ、また関係団体やNPO等との連携・協働などについて検討し実現を図ります。
- (2)今後は、市内の広範囲な体育施設の利用について、利用者にとってより便利になるような施設予約のネットワークシステムを実現します。 ← 平成18年度から公共施設予約システムを導入しています。
- (3)平成25年(2013年)に多摩・島しょを中心に開催が予定される第68回国民体育大会(東京国体)を成功させるために、他の多摩地域の自治体とその実現に向けて連携して準備を開始し、多摩における体育の振興と知名度を高めていきます。 ← バレーボール競技(成年女子)とデモスポ行事(ウォーキング、パワーリフティング)を実施しました。

○本計画における「中期的な施策の取組方針・実行プログラム」(平成25年度～平成28年度)

テーマ:地域に根ざしたスポーツ振興の推進 到達目標:健康づくりのため週1回以上運動を行う人の割合 67.0%以上